


## 旅行報告書

総合地球環境学研究所長 殿

2017年 8月 16日

( 所 属 ) 香川大学教育学部

( 職 名 ) 教授

( 氏 名 ) 村山 聡

印

このたび出張しましたので、下記のとおり報告します。

出張期間	平成29年8月15日(火)～15日(火)
用務先	滋賀県高島市朽木、京都市左京区久多及び花脊原地・大布施
用務	村山FS京・洛北研究に関する巡検
用務内容 (研修等の場合：日程表添付のこと)	<p>8月15日火曜日：8:30-19:00 (下記は訪問時間のみを記載、レンタカーを利用した路程は省略。移動時間中にも討議を行なっている。その結果を下記に記す。)</p> <p>9:40-10:00: 岩倉忠在地町佐藤氏宅訪問・お盆の接待についての視察</p> <p>11:45-12:30: 朽木の農業及び林業の実態ならびに精霊接待・川仏視察</p> <p>13:45-14:20: 久多の小阪氏宅訪問及びインタビュー</p> <p>15:20-16:10: 花脊原地の古原氏宅訪問・インタビュー及び精霊送り視察</p> <p>16:30-16:50: 花脊大布施の藤井氏宅訪問</p> <p>村山FSは環境史研究を方法的な研究基盤の一つにしている。環境史というのはヒトを取り巻く環境の歴史というより、ヒトと自然との相互関係の歴史である。その際、ヒトとヒトとの関係は、ヒトと自然との関係を理解する上でも、また、自然をどのように人間が取り扱い、影響を与えるかにおいても決定的な要素になることが数十年の環境史研究の蓄積で明らかにされてきた。では、今現在生きている人間と死者との関係、死者理解はどのようになるのであろうか。死者を想う、日本におけるお盆の行事とはなんであろうか。どのように理解すればいいだろうか。どのようにその地の自然環境と関連するだろうか。滋賀県朽木、京都市久多及び原地新田のお盆の行事を視察し、今後の研究計画を確認した。その結果、お盆飾り、柵の木、納豆餅、炭焼きと炭の運搬・流通、高齢化し放置される田畠森林などの研究テーマが視察と行路中の討議で浮かび上がってきた。最終的にこの地域のお盆の行事で重要な川地蔵の環境史の評価が目標となるが、その前に多くの点で検討を要することを確認できた。特に、集落と集落をつなぐ河川体系、道路網など、また一つ一つの物質的な素材例えば木炭などについての丹念な地域情報の収集と分析が必要なることが明らかとなった。また、行政単位、文化的な地域単位を考えるのも本研究プロジェクトの重要な課題であり、今回の巡検の新たな知見は、同じような小河川の川原での石を積み接待であっても微妙に差異があり、さらに、呼称も朽木では「川原仏」と呼ぶが、久多などその他の地域では「川地蔵」と呼ぶ。</p> <p>特に、木炭を主題とした場合、歴史地理学に投稿できるような日本語論文を計画することでこの課題の検討を進めることにした。メンバーである藤原直哉氏、青木高明氏には数理地理解析を使った地図で貢献してもらおう。また、中村博子氏には、インタビュー内容など全ての邦語の言説を環境意思決定論の立場から英語化を試みてもらおう。この論文は、小阪源逸氏及び上河原善氏お二人の聞き書から始めることにした。タイトルは、暫定的に、「木炭時代における空間を生かす繋がりの変容—京・洛北の近現代地域研究—」とする予定である。このテーマで来年、ワルシャワで開催される国際歴史地理学会にペーパーのプロポーザルもしておく計画を立てた。英文のタイトルは、Life communities and living spaces in a charcoal age: Kyo-Rakuhoku, Japan, 1880-1980として、また次の機会には、経済史系の論文を執筆する予定であり、同じくメンバーである島西智輝氏に加わってもらふこととした。</p> <p>この木炭論文の作成後は、柵の木(栃木県その他全国の柵の木事情も調べ始める予定である)、納豆、杉とお線香、納豆、お盆の精霊飾り、放置された田畑と林、京都と若狭湾、獣害などのテーマを取り上げ、さらに、Nakamura Photo Collection = NPC (今後、中村治氏貴重な写真収集をこのように呼ぶことにした)のテーマになっているものでエネルギーの循環などを、この機会に、さらに挙げておくことにした。今後はその一つ一つについて、花脊大布施の藤井桃子氏(現在、藁細工に取り組みされており、本Living Spaces Projectのアクションリサーチに関しても深く関わる仕事をされている)にも加わってもらい巡検を行い、写真集を本研究プロジェクトのアウトリーチとして出版していければと考えた。自然とヒトの乖離の克服を課題とする本研究プロジェクトとしては重要なアウトプットになると考える。</p>